Fumiyo Maeda

前田史代

The Story of the Soul by the "Corps de Ballet"

群舞する花々が語る生命の物語

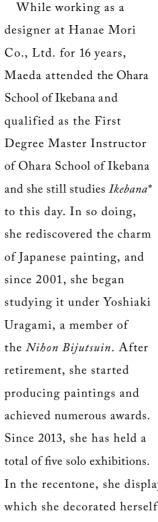
文 = 藤田博孝 (ONBEAT編集長) / text: Hirotaka FUJITA (Editor-in-chief)

前田は日本ファッション界の重鎮、森英恵が設立し た株式会社ハナエモリで、16年間にわたりデザイナーと して勤務した経歴を持つ。その傍ら、いけばな小原流 に入門し、一級家元教授となった現在に至るまで華道 を学び続けている。その過程で日本画の魅力を再発見 した前田は、2001年から日本美術院の浦上義昭に師事

群舞I Corps de Ballet I 91.0×72.7cm

職後は自身が培った意匠 的感覚を基により本格的に 作品制作を始め、出品した 公募展で数々の受賞を果た す。2013年以降、計5回個 展を開催しており、最近の 個展では絵画作品に加え、 磁器皿に自身が染付を施し た呉須絵また赤絵作品も 展示した。28年以上華道に 接し続けているだけあり、 前田は非常に生命力豊か に花々を描く。掲出作にお いても、余白の「間」が尊 重された空間の中で、花々 は際立った瑞々しさと躍動 感を放つ。まるで花々が輪 舞曲を踊るようであり、見 る者に転生する生命の力を 想起させる。デザインの「意 匠」、いけばなの「間」、日 本画の「線」、そして染付の 「技」と、前田の学びの蓄 積は作品に確実に反映され ており、今後の活躍がます ます楽しみな作家である。

し日本画を学んでいる。退



In the recentone, she displayed Gosu-Akae porcelain, which she decorated herself alongside paintings. Being in touch with Ikebana for more than 28 years,



奏で Eternal Grace 20.5×20.5×3.0cm



群舞II Corps de Ballet II 53.0×45.5cm

she draws flowers very vigorously. In her most proclaimed work, flowers are dynamically portrayed and emit a sense of freshness as if they were dancing Rondo, reminding the viewer of the power of life and its cycle. Her knowledge of "creativeness" in the art of design, "space" in Ikebana, "line" in Japanese painting, and "technique" in overglaze decoration undoubtedly form the underlying basis of her works, which makes her much anticipated.

Fumiyo MAEDA

前田史代

武蔵野美術短期大学デザイン科卒業。(株)ハナエモリのデザイナー を経て、現在に至る。東京銀座で個展5回。トリーア選帝侯宮殿 にてグループ展。東京都勤労者美術展東京都知事賞ほか受賞多数。 https://fumiyomaeda.com/

Graduated from Musashino Art University Junior College of Art and Design, Faculty of Design. After working as a designer of Hanae Mori Co., Ltd., held 5 solo exhibitions in Ginza, Tokyo and group exhibition at the Palace of the Electorate of Trier. Won many prizes.